

2014年11月19日

都道府県本部 委員長 様

二大運動最終段階、総選挙にあたって、 組織の総力を挙げてのとりくみを訴えます

沖縄県民の誇りをかけた島ぐるみの県知事選挙は圧勝。「戦争する国づくり」、消費税増税、原発再稼働、社会保障切り捨てと暴走を続ける安倍自公政権は、国民のはげしい怒りにおされ、国会解散に追い込まれました。安倍首相に、暴走政治ノーマーを突きつける絶好の機会、まさに風雲急を告げる情勢です。

20万請願大運動、秋の仲間づくり月間の二大運動は、残すところ一ヶ月を切りました。

請願運動は、15県が自主目標を突破、全国で23万6千を超えています。年金切り下げに対する、高齢者・国民の満腔の怒りに応える各県・支部の組織を挙げてのとりくみの結果です。仲間づくりのとりくみは、11万4千6百人と、組織として最高の峰に達していますが、いっそうのとりくみ強化が求められています。

二大運動最終の四週間は、総選挙ともろに重なります。予想される投票日14日の翌々日が運動を総括する第32回中央委員会です。

総選挙は、年金切り下げ・消費税増税・医療・介護改悪などを許さないという私たちの要求を前進させる絶好の機会です。総選挙のとりくみは、徹底した対話と宣伝が中心です。二大運動推進にとって絶好の場を得たといえます。総選挙期間の中でも、組合としての要求宣伝活動は、旺盛に展開できます。年金者組合は、組合員各自の思想・信条の自由、支持政党の自由を全面的に保証しています。それぞれが後援会活動に積極的に取り組むとともに、各県・支部は、二大運動の飛躍と前進をはかり、安倍内閣退陣に向けて組織の総力を挙げて取り組むよう訴えます。12月16、17日の第32回中央委員会には、要求実現の展望を切り開いた喜びを持って集えるよう、残された期間、全力をあげましょう。

2014年11月19日

全日本年金者組合
中央執行委員長 富田 浩康